

WoodLong-Eco

SUPER WOOD TREATMENT

ウッドロングエコ

木材保護剤は、短時間で、しかも非常に経済的、その上環境にやさしく、貴重な森林を保護することにも貢献致します。

〈使い方〉

- ビニール袋の中に入っている濃縮乾燥粉末状の本製品20グラムに対して、水1ガロン(約4ℓ)にて、よく溶けるまでかき混ぜてください。(本製品100グラムの場合は、水5ガロン(約20ℓ)となります。)完全に溶けなくて、下に沈澱する成分がありますが、これは本製品の特徴である天然成分ですので、効果にはまったく影響がございません。時々上下をかき混ぜながらご使用下さい。本製品は、木の表面及び、切り口から浸潤していきますので、木材は、必ずペンキやニス、オイルステイン等の塗料を塗っていないものをご使用下さい。他の塗料などを塗布した木材に対しては、本製品の有効成分が浸潤していくことが出来ませんので効果がありません。ご注意下さい。
- 又、本製品を水に溶かした溶液を塗る際には、木材の表面全てに、完全に、塗り残しの部分が無いようご注意下さい。特に年輪が見えている切り口の部分や、節のまわり、ひび割れのある部分等は念入りに塗布して下さい。その部分は、有効成分が一番染み込みやすいところです。
- 本製品を水に溶かした溶液を、木材に塗布する場合、ハケ、ブラシ、ローラー、スプレー等をご使用下さい。又は溶液の中に浮かばないようにして、全体が浸った状態で、10分間ほどつけこんでおく方法も可能です。
- 他のコーラタールや化学防腐剤と違って、塗布した部分は、肉眼ではただ、水にぬれたようにしか見えません。乾いた状態の木材に塗るようにすると、塗ったところと塗ってないところの判別がつきやすくなります。
- 木の種類にもよりますが、通常、塗布後すぐには、色などの変化が現われませんが、効果には変わりありません。雨や風、太陽にさらされれば、さらされるほど、乾燥と浸潤効果により、深く浸透していきます。そして次第にきれいな銀白色となっていきます。
- 丸太に塗るときは必ず皮を剥いてから塗布して下さい。
- 木材はなるべく乾燥させたものをお使い下さい。有効成分が浸透しやすく、より強力な効果が得られます。
- ウッドロング・エコを塗布後に木材表面を破損や摩耗したり又、コケやカビなどが付き始めた部分は直ちにブラシなどを使って水で洗い落とし、乾いた後ウッドロング・エコを塗り直す事をお勧めします。
- 木の種類により色の変化は、異なります。施工前に、必ず小片等にテスト塗りをお勧めいたします。

